

平成29年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	産業・経済・雇用関連	40歳代	洋野町	男	八木地区の高上工事や防潮堤工事の進捗。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	洋野町	男	被災後、早期に様々なことに取り組んだ。被災から6年、最初は大変だったが、町・県・国からの援助により、少しずつ回復して生活、地域経済、安全なまちづくり(防潮堤の完成)など、達成出来たと思う。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	久慈市	女	復興道路や周辺の堤防の整備も、着実に進んでいるように見える。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	野田村	男	高台団地への住宅建設、公営住宅への入居も全戸完了し、町内会自治会等の活動も見え始めている。今後、地区内のコミュニティをどの様に進めるかが課題である。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	野田村	女	高台移転や住宅の再建も終了し、生活は回復している。
回復した	産業・経済・雇用関連	40歳代	野田村	男	住宅の高台移転や公営住宅の建設等で、仮設住宅も撤去されており、生活面では被災前の生活にほぼ回復した感じがある。
回復した	教育・福祉施設関連	60歳以上	田野畑村	男	震災直後、住宅再建にいち早く取り組んだということもあり、災害公営住宅は既に完了済みで入居予定者は全て入居が完了した様子。また、自立再建予定者もほぼ完了された様子。(県事業ではない)
回復した	地域団体・郵便局関連	40歳代	田野畑村	男	住宅再建がほぼ完成している様に見える。
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	岩泉町	男	日常生活に戻った。
回復した	地域団体・郵便局関連	40歳代	岩泉町	男	住宅の再建は終わっている。公営住宅に入居された方も、落ち着いた生活を送っているように思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	宮古市	男	仮設住宅に住んでいる人が激減している。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	宮古市	女	防潮堤工事、復興道路工事等の工事が進み、最近は見えて完成イメージがつかめるようになってきた。校庭の仮設住宅は、全て撤去され、校庭で遊べるようになった。6年生にとっても初めての広い校庭である。国道106号や岩泉道路の、台風による復旧工事がなかなか進んでいないことを感じると同時に、それぞれの工事が進むことを願っている。
回復した	産業・経済・雇用関連	40歳代	宮古市	男	高台が完成し、一年経過している。仮設住宅に住む人がだいぶ少なくなった。
回復した	教育・福祉施設関連	40歳代	宮古市	女	高台移転や公営住宅への転居などにより、仮設を出る方も多く、仮設の解体工事も進んでいる。その一方で、まだ行き先が決まらず仮設から出られない人もいる。残っている人は、個々の問題を抱えている方々で、仮設を出ることにより新たな問題が発生する可能性があり、難しい。また、仮設から出た後も交流を求めて、仮設集会所に来る方々も多いため、今後、引越先での新たなコミュニケーション作りが課題と言える。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	宮古市	男	生活苦の話は聞かなくなった。ただ、実際見えない、聞かれない所ではあると思うので、回復はおおよそできていないのではないかと感じる。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	山田町	女	被災前とは比べられない。また、比べたくない。今の私達は震災から一生懸命頑張ってきた。皆様からたくさんのお陰をいただいた。お陰で、今は落ち着いた生活が出来るようになった。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	山田町	男	織笠地区の高台、区画整理事業(埋立)が終了。90%位新築入居している。
回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	大船渡市	女	(1)高台移転へ住宅再建して生きるため、仕事できる範囲で頑張っている様子。 (2)話していると落ち着いている。
回復した	地域団体・郵便局関連	50歳代	大船渡市	男	災害公営住宅も完成し、高台移転も進んでいる。その中で、仮設住宅に住んでいる方もいる。理由は様々あると思うが、自力で頑張っている人、頑張れるのに頑張ろうとしない人、支援を行う行政の仕事は平等が原則だから大変である。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	陸前高田市	男	中心市街地が出来たこと。災害公営住宅が全部出来たこと。稼働意欲のある方は、皆一生懸命働いている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	久慈市	男	野田村都市公園がこのほど完成した。宇部川ほ場整備事業が進み、すべての田区で田植えが行われた。復興道路の工事も宇部町地内で始まっている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	久慈市	女	復興道路の工事や公営住宅等に入居された方が増え、生活環境の改善は進んだ。ただし、地域の経済力がまだまだ再建途上であるため、将来の展望が描ききれない。住民の高齢化と地域の雇用条件が他地域に比較して低いため、若年層の他地域への流出が続いており、地元では慢性的な人材不足に陥っている。生活水準が以前まで回復したかは疑問がある。若年層が地元へ定着するための政策が急務と思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳代	久慈市	男	公営住宅の完成、新駅のオープン商業施設のオープンなど、明るい話題が多い。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	野田村	男	自力再建、公営住宅などほぼ住環境は復旧したように見受けられる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	普代村	女	納屋等が回復している。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	田野畑村	女	道路工事も進み、庁舎や警察も建設が始まり、新しいステージに進んだから。ただし、岩泉の道路等手をつけられていないところもある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	岩泉町	男	住環境の再建は完了したが、少子高齢化が進み、創出された雇用に十分に対応できていない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	岩泉町	男	日常の会話の雰囲気や穏やかになってきており、生活の安定感がうかがえる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	岩泉町	男	仮設住宅から、災害公営住宅や新居への引越は落ち着いた印象。雇用面は建設や土木関連は好調で、人手不足の様様。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	宮古市	女	仮設住宅から、公営住宅、又自宅再建により出て行った人が多い。残っている方は、数が少ない。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	宮古市	男	防災集団移転促進事業による宅地造成や、土地区画整理事業による換地や宅地の整備は完了し、また、災害公営住宅も計画のとおり完成したことにより、住宅の再建や確保が進み、住まいについてはやや回復したと評価できるところまで来ている（一方、現在もなお30世帯位が、仮設住宅に入居を続けていることも忘れてはならないと思っている）。新たに完成した災害公営住宅や、自力再建された真新しい住宅団地の外観から、住環境の再建による生活の回復が相当程度進んでいるように思われるが、ここに至るまでに、どれだけの時間と労力と資力を費やしてきたか、改めて思い返してみると、特に苦渋の選択と決断の連続であったことを思い知らされる。また、住環境の再建は、必ずしも生活の回復にストレートに繋がるものではなく、生活の回復を実感出来る人が将来どれだけのいるのかは分からない。雇用の創出については、一部の復興関連と漁業・水産業関係を除いて、現在までのところ見通しが立たない状況が続いており、近い将来の展望は開けないものと思われる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	60歳以上	宮古市	男	仮設住宅が残っている段階では「回復した」には、丸はつけられないと思う。生活の状況は（全般的には）回復してきていると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	宮古市	女	高台での住宅再建が、さらに進んできている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	宮古市	男	災害公営住宅には高齢の方々が多く、特に3階以上に入居した方について、外出する事が少なくなっている（階段の上り下りが辛いとの事）入居時は津波が怖くて上の階を希望したが、エレベーターが無く引きこもり状態になった人が多く見られる。高台移転も商店が無く、移動に不便を感じている人がいる。仮設の老朽化が進み、カビの発生もあり、理由があって残っている人の健康面に不安有。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳代	宮古市	男	グリーンピア三陸みやこグラウンド仮設（現在約19世帯） 出ていく出ていく世帯、次の住まいに確実に引越しているの、生活は回復してきていると思う。この仮設住宅に残っている世帯の大半は、住宅再建を望んでいるみたいだが、自分的には資金調達問題（借入・返済問題、預貯金の建築費への使用配分、親戚からの援助、支援金締切期限への焦り）、資材高騰による建築費の価格上昇、契約工務店の順番待ちによって着工期日が未確定、一人世帯、寿命などのことを真剣に考えると再建に躊躇している。 最近の生活で感じる事 ・雑草が生い茂り、人が居ないことも相まって廃墟感が漂っている。 ・防犯灯の蛍光管が寿命で消えていって、夜になると星空がきれいに見えるようになってきた。 ・自宅近くのゴミ集積所を利用する世帯が数件となり、誰かがゴミを出したが見当がつかなくなったので、住人は今まで以上に適正にゴミ出すようになった。 ・仮設店舗も実質2店となり、9月末で終了とのことで寂しいかぎりである。 ・近所付き合い等の「しがらみ」がなくなったので、快適に暮らせるようになった。 ・「別にここで一生暮らしてもいいなあ」と思うようになってきた。 ・実際のところ、もうどうでもよくなってきた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳代	宮古市	男	やはり近所に笑顔が増えたことだろう。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	宮古市	女	自分の実家も高台に移転した。次々と仮設の人が高台に家を建て移ってきている。だが、自分（実家）が仮設だった時は周囲がどのくらい仮設に残っているか分かったが、今は分からない。きっと回復しているのだろうと思う。コミュニティ的には悪くなっているだろう。周囲に知り合いがいれば、うちの祖母も出て話したりできるだろうに。ADLは低下する一方だと思う。これはうちの祖母に限らず、高齢者は特に。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	山田町	男	住宅の再建、消防団屯所の再建、山田病院の再建。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	山田町	男	巨大怪物ベルトコンベアが解体され、近代的な県営アパート・町営アパートの完成がなった。昨年11・12月にかけて、転居者が増えたこと、よろこばしいことである。しかし、高台等を含めた移転地の宅地造成がまだ見通しが立たないこともあり、仮設住宅待機世帯の不安を募らせている。仮設住宅世帯の中には、後期高齢者が多く、再建住居に早く入れることを夢見ながら、他界された方も多し。また、7年目に入り長引く狭い仮設住宅で精神的障害に悩まされて通院されている方もいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	山田町	男	住宅の自立再建による高台移転を希望する方は、仮設住宅に住んでいるが、公営住宅への入居も終わり、個々の住宅再建が進み、生活は安定してきた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	山田町	男	高台の整備も進み、住宅も再建されてきている。仮設住宅も空き部屋が多くなってきている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	大槌町	女	当仮設も入居世帯数が半数になり、又、9月災害公営住宅へ入居予定もあり、住まいに関しては、回復が進んでいる。しかし、まだ防集の土地整備中や、災害公営住宅がまだ基礎工事も始まらない世帯もあり、仮設住宅の集約化で、他の仮設に引越しを余儀なくされる世帯もあり、不安な人もいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	大槌町	女	仮設の空き家が多く見られる。今住んでいる近所は、新築で街が出来、再建しているのが多く見られる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	大槌町	男	防集、区画整理事業が完了に近づき、一部で遅れはあるものの住宅再建が目に見えて進んできた。中心市街地では商店の再建が目立つようになり一歩一歩進んでいると感じる。被災者の生活という観点からは、いまだ約2,000人が仮設住まいとのことで、回復の途中とを感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳代	大槌町	男	街並み、高台工事、自立再建と徐々に進んでいると思う。仮設住宅の空きが出てきているのはその成果、結果だと思う。あと半年したらもっと進んでいると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	大槌町	女	どんどん自宅再建される方が増えている。仮設住宅の空きが多くなってきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	釜石市	男	仮設住宅から復興アパートに転居する人が多くなっている。浸水地域の嵩上げ工事が少しずつではあるが進み、住宅の新築が増えている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	釜石市	男	1.復興住宅 我が地区では100%進んでいる。 2.雇用面 良好と思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	釜石市	女	盛土も終わり、自宅を再建住めるようになった人たちが増えてきている様子が伺える。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	釜石市	女	仮設の取り壊しが進んでいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	釜石市	男	地域の復興住宅が続々完成し、入居が進んでいる話が聞こえてきている。近所の雇用促進住宅（みなし仮設？）からは、全員退去されたようで、区画整理が進んだところでは、家がどんどん建っている。仮設住宅のいくつかも、全員退去、取り壊す予定と聞こえてきている。新しい環境で、被災前よりも充実した生活ができることを心からお祈りいたします。未だ仮設住宅で暮らす方々の心身の健康を最優先した復興を、今後ともよろしく願っています。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	大船渡市	男	高台移転団地の造成工事が昨年9月に完了し、11月から移転者に土地の引渡しが始まった。今では8棟が建築され、中には完成間近のものもある。災害公営住宅へ入居した方などもおり、仮設住宅はかなり淋しくなっている。目にする地域の様子は、かなり変化してきている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳代	大船渡市	女	浸水域に建設中であった個人店舗の集約スペースが稼働しはじめ、新しいまちの中心として地域住民に認識されてきた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	大船渡市	男	大船渡市の中心市街地における商業施設の建設等、目に見える形で復興の実感がある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳代	大船渡市	男	仮設から新居へ移る世帯も増え、仮設住宅そのものの撤去も進んでいる。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳代	大船渡市	女	自宅再建された方が増えた。校庭の仮設がなくなった学校が増えた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	60歳以上	陸前高田市	女	高台移転を待ち、仮設住宅に住んでいる人も多く見かけるが、状況が整えばいつでも移転したいと思っている人も多い。反面、経済的、年金的な事で移転できない、仮設を出る事が出来ない方々もまた多くいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	陸前高田市	男	市街地の盛土の地に複合商業施設もオープンし、市街地形成のインフラも整備された。しかし、個人商業主の市街地への商店施設をオープンは、個々にさまざまな問題をかかえており、今後どのような意思決定されるかが注視される。被災者の生活用品の環境が整えられている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	陸前高田市	男	現在住んでいる仮設住宅は、全22戸のうち8戸しか住んでいない。住環境としては、自分はまだなので、やや回復したとした。6カ月間では、今泉の復興住宅が完成し、4月より入居が始まった。しかし高台移転は全然進んでいない。自分も高台希望である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	陸前高田市	男	陸前高田も29年3月末で公営住宅も完成した。仮設から移った方々も多くなった。宅地の完成は、最終で32年度になるが、全ての方々が自宅地の完成後に住宅を建てるとは思えない。地域の環境が気になる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	陸前高田市	男	盛土の所に商店ができた事。災害公営住宅が完成した事。復興工事が出来あがっているようで、工事の人数が少なくなったのと、ダンプカーなど車が少なくなってきた事。一部の人で、まだ生活の再建をどうするのか迷っている人がいる事で、仮設住宅から出られない人もいると聞いている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳代	陸前高田市	女	住宅の建築、復興住宅も完成し、新しい住まいで生活している人が多い。転居する人が増えているように思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳代	陸前高田市	男	復興住宅が着々と完成していること。小中学校の仮設住宅が撤去されてきたこと。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳代	陸前高田市	男	高台に移転し、自宅を再建できた人に対し、仮設又は公営住宅に一人で住んでいる人等は、将来にかなりの不安をかかえていると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	陸前高田市	男	災害公営住宅も全て整備されたが、まだ高台移転地が全て完成はしていない状況だが、住まいに関しては60%以上は進んだと感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳代	久慈市	女	回復が進んでいる人、停滞ぎみの人の格差が広がっているように感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	野田村	女	高齢世帯の方は、以前（震災前）までに回復するのは難しく感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳代	田野畑村	男	道路や防潮堤などは進んでいるが、生活再建は進まない。どんどんこじんまりした生活、活気のない生活になってきている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳代	岩泉町	男	東日本大震災による被害を受けた地域については、徐々にではあるが復興が進んでいる様子うかがわれる。ただし、岩泉町は台風10号の被害が大きく、こちらについては復興の進み具合は十分とは言いきれず、今後の進捗が期待される。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳代	宮古市	女	まだ仮設住宅に住んでいる方が多くいる。雇用の点では土木関係、介護関係が多く、なかなか仕事に就くのも難しいものが多いので、「雇用が創出されている」気はそんなにしない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳代	宮古市	男	目に見える復興は進んでいる様に思う。心の問題は…。これからが問題かと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳代	山田町	男	高台宅地は、未完成は町中央部だけとなって、私の地域（町はずれ）では個人の住宅建設はかなり進んでいる。秋には公営住宅も入居できるので、半分に減った仮設入居者も今秋には2～3割になると思われる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	大槌町	男	住居に関して新築を考える場合、自分の年齢を考え、決断に時間がかかっている人が自分の周りに何人かいる。遅くなればなるほど、年齢が高くなるし…若い人なら後押しもできるが、60代では辛いと思われる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳代	釜石市	女	進んでいるところ、遅れているところの違いがはっきりしている。まちづくりの形が見えてこない、回復しているとは言えない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	釜石市	男	復興住宅がほぼ完成し進んでいるように感じるが、住環境のみで生活圏が回復したとは言えず、どちらとも言えない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	60歳以上	大船渡市	女	周りの高台に多くの家が建ちはじめた。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	大船渡市	女	高齢者は、以前住んでいた地域の人とのつながりがなくなった。車の運転もできなくなってきているので、買い物も近くではできないので、生活していくのが大変。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳代	陸前高田市	男	津波で流された所に、商業施設ができたので良かったと思う。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳代	山田町	男	6年間過ぎて、これ以上の回復はないような気がする。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳代	釜石市	男	仮設から本設へと徐々にではあるが、移転が進んできている。
回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳代	釜石市	男	復興整備の遅れ。市町村ではマスコミ等で「早期の復興」等々と言っているが、庶民に伝わらない（ハード面、ソフト面）。そんな中、確実に年齢だけは待ったなし。災害公営住宅は、将来必ず空き部屋が増える。
わからない	教育・福祉施設関連	50歳代	洋野町	女	洋野町には（私の周囲には）深刻な感じに被災した人はいない。申し訳ないが、わからない。たまに野田村へ行く機会があり、高台の方へ密集して建つ真新しい家々を見る。補助金？等あって新築できたのかと思っているが、思い出のつまった元の家に勝ることはないのだろうと、気の毒に感じる。被災された御本人達は、頑張って前を向いて行こうとしているのに、被災もしていない自分が、勝手に思い込むのも変な話ではある。
わからない	教育・福祉施設関連	50歳代	久慈市	男	身の回りに被災された方がいないため。
わからない	教育・福祉施設関連	50歳代	山田町	男	H29.4.1転入のため。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	産業・経済・雇用関連	40歳代	洋野町	男	海産物の収穫状況を見て。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	久慈市	女	観光客の誘致等も、継続して行われているようだ。震災からの回復という点では、着実に進んでいると思われる。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	野田村	女	農業も水産業もほとんど以前のように回復していると感じる。
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	岩泉町	男	水産業は回復したと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	40歳代	岩泉町	男	震災からは回復したと思われるが、台風10号の被害により、震災と同等かそれ以上の被害があった。同等の支援がぜひ必要と思う。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	宮古市	女	水産業は回復しているのではないかと。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	山田町	女	養殖関係は販売経路なども工夫し、休みなしで働いている。他の人も自分の休みを利用し、手伝いに行き、お互い助け合っている様子。この様な事は震災前は考えられない事だった。今は海の方が不漁ですが、漁業の皆さんは元気良く、見ていて気持ちが良い。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	山田町	男	漁業、農業とも被災前のように回復したと感じている。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	釜石市	女	私の知人はほぼ復興アパートに入居したり、中古住宅に引越している。
回復した	地域団体・郵便局関連	50歳代	大船渡市	男	復興関連の工事もだいぶ進み、完成が近づいている。それに伴い、復興関連で大船渡に来ていた人たちもだんだん減ってきている。自然人口減少と合わせて人口が少なくなっている。このままでは震災からの復興にブレーキが掛かってしまいかねない。大船渡では交流人口を増やすためにカジキ釣り大会を開催し、インバウンドの増加を考えているが、漁業調整規則法や漁業権により開催できない。世界共通のルールで行われるカジキ釣りを、世界の先進国の中でスポーツとして認めていないのは岩手県のみである。宮城、福島、千葉、東京、静岡、和歌山、高知、沖縄等は条例を見直して、流動人口の拡大を図っている。少子高齢化が進む中で震災からの復興を考えると、既得権や明治時代に制定された現代に即さない条例は見直す価値があると思う。小さな商圏も大切だが、インバウンドの拡大が今の日本にとっては必要だと思う。幸いにして大船渡は世界三大漁場のうちの一つに数えられる海が目の前にある。世界中のスポーツアングラマーが大船渡を目指しているのに、扉を閉じてしまっているのはもったいない。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	陸前高田市	男	防潮堤、防波堤は現在進行形ですが、事業経営は元に戻ったと思っている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	久慈市	男	事業所で働く人が、人手不足で70才過ぎても働いている人が多く見受けられる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳代	久慈市	男	土木系は仕事があり順調。魚が揚がればなお良い。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳代	久慈市	女	関係者の努力と工夫により、多くの魅力あるイベントや事業を企画・発信しており、それが地域経済の回復につながっている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	野田村	男	被災地の農地に空きが見える。担い手不足なのか高齢化による耕作放棄なのか、今後の農業施策に期待する。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳代	野田村	男	地域産業の復興は回復したと思われるが、被災者が遠方へ移り住むなどで、経済的な復興は被災前と同じ程度に回復したとは思えない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	60歳代	田野畑村	男	漁業者の船の復旧は既に完了しているが、魚がなかなか獲れないようだ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳代	田野畑村	男	見た目には、回復しているのですが、今、家のローンがすごく大変になってきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳代	田野畑村	男	水産業も良くなってきている様に見える。復興道路の工事が進んできている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	岩泉町	男	経済の面でも少子高齢化の影響で、いろいろな支援に対しても十分に活用できていない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	岩泉町	男	漁業面は回復度合いが進んでいる様に思われる。食品関係の商店は順調のようだが、高齢のため仮設店舗が終了と同時に店を閉じるという事も起こっている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳代	岩泉町	男	沿岸地域の水産業については、既に再開されてきており、回復は進んできているものと見られる。しかし、通常時における販路の確保等については、課題が残るものとなっていると感じられる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	宮古市	女	廃業などしたところもあると思うが、それは回復の目途が立てられないために決断し、その他の生活を求められたのだと思う。他を見ると、少しは良くなっていると思う。買い物に行ってみると、買い物をしている方が多くなったと思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	宮古市	男	水産加工分野でなかなか震災前の水準を回復できていないようである。コネクタ産業は好調で回復しているようである。就業支援員として、事業所を回っているが、「来年から仕事がないので、募集しない」という声も聞かれるようになった事が心配。
やや回復した	教育・福祉施設関連	60歳以上	宮古市	男	雇用については、地元企業の求人が多い。かさ上げは各地区進んでいるが、そこから先は見えないように感じる。（商業施設もつくられるのだろうか。住宅だけになるのか）
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳代	宮古市	男	漁業施設は回復したが、失った販路を回復させるのが課題。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳代	宮古市	男	スーパーなどへ行っても、人がたくさんいること、レストランにも人が増えていること。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	山田町	男	3.11東日本大震災襲来以来、海況の大変化となったようである。合わせて地球温暖化の影響か、暖海域の魚類が収穫され幹群魚種である鮭、スルメイカ漁等が不振で定置漁業の経営を苦しめている。されど、前にも述べたが、漁業の後継者の激減は、磯魚や、浅海養殖業者の収入を増やしているようである。商工業にあっては、昨年11月にオープンした「オール商店街」の完成で、周辺の商圏域の活性化に繋がっている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	山田町	男	地域経済を個々に見れば、ある程度回復した。ただし、全体的に見ると高齢者や後継者の離職等により、生産人口の減少によって、経済力は大きく落ち込んでいると感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	山田町	男	進んでいると思うが、ここ1、2年はあまり変わっていないと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	大槌町	男	地域経済は確実に回復していると思う。ただし「次」を考えないと、長くは続かないような気がする。「次」を真剣に考える時であると思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	釜石市	男	1.基盤整備 約7割程度進んでいる。 2.金融業 ほとんど完了済み。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	釜石市	女	町の商店も、盛土した土地に何店舗ずつでも再建され、営業が始まっている。まだまだではあるが、町並みが少しずつ回復している気がする。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	大船渡市	男	BRT大船渡駅周辺に、4月末新たな商業施設がオープンし、周辺が賑わってきている。新たなまちづくりの形が、かなり出来上がってきたと思う。まちづくりの工事のため道路がたびたび変わっていて、目的地向かうときに戸惑ってしまうことがよくある。魚市場も新しくなり、水産物関連の大型の冷蔵庫や水産加工工場の新たな大型の社屋もできた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	大船渡市	女	仮設商店から、店舗を新しく建てているところも見られる。しかし、店舗があまりにも狭く、商品の数が少ないところもあり、大変そうである。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳代	大船渡市	女	市が続けてきた起業支援や地域住民のもりたてていこうとする意識の働きかけもあつてか、経済活動を活性化する意欲を地域全体から感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	大船渡市	男	グループ補助金をはじめとした各種支援制度を活用した設備投資に伴う、工場等の稼働へ向けた動きが実感出来る。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳代	大船渡市	男	浸水地域の盛土も進み、商店街・繁華街の営業も始まった。周囲で工事を行いながら並行してスタートした感じ。今年に入り、何年後だったか忘れましたが、水産資源が全く獲れなくなる年が来るとの話を耳にして、水産業を糧にしている地域の将来はどうなるのか不安を感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳代	大船渡市	女	被災した市街地に商業施設ができた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	陸前高田市	男	陸前高田市の嵩上げ部には、大型商業施設アパッセがオープンした。しかし、他の施設はこれからということ。今泉地区はぜんぜん進んでいないと思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	陸前高田市	男	盛土に商店が建ったこと、建設計画を進めている人がいる事。今年末までに仮設店から移転するという話があるから。資金の面で、本設の計画ができない人がいるようだ。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳代	陸前高田市	男	コンビニエンスストアが増えてきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳代	陸前高田市	男	イオンがある、ショッピングセンターが出来た、で一見にぎわいが戻って来ているように見えるが、まだ郊外に点在している仮設店舗にしても、そういったショッピングセンターにしても、自動車が必要で、自転車や徒歩で気軽に行けるような状態ではまだない。かさ上げが完了し、近場に住居があるような状態になってはじめて回復したと言える気がする。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳代	陸前高田市	男	商業地ができれば、経済が回復したのかなと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	洋野町	女	洋野町で打撃を被った海浜公園や港は、素人目からではあるが、震災前と同じ位に修理されたように見える。「ウニまつり」や「マリノフェスタ」も、盛大に開催されている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	久慈市	女	東日本大震災による経済復興の点で見れば、三陸沿岸道路の建設が急ピッチで進められて、完成に伴い交通手段が大幅に改善され、これに伴う企業の誘致や雇用状況の改善及び若年層の地元定着等経済的波及効果は大きいと思われる。ただし、昨年8月末の台風10号による被害状況が甚大であり、この影響で地域経済はまだ復興途上である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	久慈市	男	台風10号の影響が大きいために、震災の方については正直分らない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	野田村	男	被災後の負担に加えて、消費者の購買力の減少により、特に事業者の経営は厳しさを増していると思われる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	野田村	女	変化が感じられないため。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	田野畑村	女	観光客が少ない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	岩泉町	男	第一次産業は震災前に戻った感じが、元々からあった後継者不足の問題は解決されていないので、これから数年後を考えると心配である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	宮古市	男	3.11の大震災により、廃業に追い込まれた業種のうち、地域住民にとってなくてはならないものの中で消滅した業種があり、日常生活に大きな不便をきたしている。以下、アパート、豆腐屋、スナック、建具店、寿司店、クリーニング店、民宿、自転車店、鍛冶屋、製材所、ふとん店、釣具店、呉服・衣料品店、洋裁店などである。また、菓子店、薬屋、履物店などの減少も、小売店の仕入れにも影響を及ぼしている。廃業により、消滅した事業所の再生は見込めない状態であり、各種支援策があっても活用する側の実態を見ると、地域経済の回復には繋がらないのが現状である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	宮古市	女	人口の影響が大きいと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳代	宮古市	男	若い世代の流出による農漁業の人手不足が顕著になっている。建設業が落ち着きを見せている事から、今後の景気に不安要素が見える。復興景気が落ち着き、他県よりの出稼ぎ者の減少等により飲食店の客足の出入りが減少。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳代	宮古市	女	まだ道路工事は盛んで、多くの作業員の方がいらっしゃるので、活気あるような感じはするが、もう少しして工事が終われば静かな街になる気がする。農林水産業は、これからの担い手育成もしていかなければ、成り立たなくなる気がする。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳代	宮古市	男	復興パブルと言われて久しいですが、建設や土木は確かに潤っている様に思う。水産業に関しては、サケやサンマの不漁により、加工業者の倒産等が懸念される。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	宮古市	男	この辺が限度なのかと感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	山田町	男	後継者の不足、商店街の遅れ、三陸鉄道(宮古～釜石)の早期開通を願う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳代	山田町	男	現状ではまだ仕事があるので、仕事(それによって得られる収入)で困っている方は目立たない。もともと経済的に豊かな地域ではないので、以前(震災前)と比較して大変という感じは受けにくいようになっているが、今後仕事(復興関係)少なくなると、住宅ローン(被災者の再建)や公営住宅の家賃が、重くのしかかってくるのではという心配がある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	大槌町	女	町民バスも本数が減り、出かける回数が以前より少なくなった。乗車人数が1人の時もあるので、本数が減るのは仕方がないと思う。合わせるしかない。町中に本設の商店も連立始め、明るいニュースにはなるが、バスの時間を考えると、途中下車して買い物はできないので、にぎわっているかどうかわからない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳代	大槌町	女	自宅は再建出来ているが、働く場所がまだまだ足りなく、地域経済にはほど遠いように見える。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳代	大槌町	男	行政や政府系金融機関による金融支援は手厚いが、問題は地域の将来への不安から再建、新規事業立上げを躊躇している方が多いということ。各業種、従業員確保に苦労している様子。特に水産加工業では人が集まらず厳しい状況になっている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	釜石市	男	何かの機会があれば、家族で外食することが増えた様に思える。飲食業にしても、仮設店舗から街中に移る人が多少増えたと感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	釜石市	女	大型店は賑わっているが、小売店の経営は人口流出による影響が大きい。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	39歳以下	釜石市	男	平日夜の街や週末のにぎわいを見ていると、活気があるように見えますが、農林水産業、事業所の様子が分かりかねる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	60歳以上	大船渡市	女	大船渡町は進んでいるが、地元の赤崎町は人口も減り、寂しいかぎりである。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	陸前高田市	男	仮設住宅地は変わらない。大津波のために高い所の空き地に移動した方々、公営住宅も高い所へと、生活に必要な店は新地へと、車の無い老人の方々はバスで行く。買い物への交通が大変なようだ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳代	陸前高田市	男	今年4月大型複合施設のオープンによる経済効果は若干感じられるが、全体としてはどちらとも言えない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳代	陸前高田市	女	震災直後に比べて、地域経済は悪いと思う。盛土で高台に造られた商業施設にあまり人は入っていないと思う。周りの建設が進みお店が増えたら、震災前くらいの経済に回復できるのか不明。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	陸前高田市	男	住宅も整備が進み、新築着工数が減ったことで、その分の落ち込みが感じられる。また中心市街地に大型商業施設が完成したが、まだ周りが整備されていないので、機能が十分に果たされていないと感じる。そして、中心市街地に店舗を建設できない業者も見られ、取り残されていく業者の方々が、今後どこに店舗を建てられるかが、未定となっている方々もいる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳代	田野畑村	男	漁業は、昨年8月の台風の被害に対する補助等の支援があまりなかったことに加え、サケの不漁、イカの不漁とともに、今年に入ってから魚価の低迷（アニサキス問題）、クロマグロの漁獲規制などで、漁家の収入がどんどん減っている。あまり明るい兆しが見えてこない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳代	山田町	男	水産物の水揚げが、思っている以上に少なく大変。今後の見通しはたない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	陸前高田市	男	水産業においては、本年3月末でがんばる養殖支援事業は終了した。今までは支援事業を受けた業種は、国から水揚補償として57年間補助を受けたが、その間の水揚実績は、震災以前のような実績になっていない業種が多く、実績不足分（赤字）は、国へ返還が求められ、大変厳しい状況下にある。業界は水揚減に伴い、魚価格は高い水準にあるものの、生産量の減で、今後はかなり厳しい状況になると思われる。
回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳代	宮古市	男	そもそも田老地区は、震災以前から人口減少、高齢化問題が取り沙汰されており、地域経済も衰退していたが、震災後は更なる人口流出、当地区生命線の「水産業」での魚介類の不漁などが拍車をかけ、経済の回復に向かうどころか悪化の一途を辿っているように感じる。また当地区は低所得者の割合が高いなど、明るい材料が乏しく、地域経済の回復は厳しい状態にあると感じる。ただ、別口として、「復興需要」があったのも事実で、震災前より売上が伸びた業種、事業所もまらずあったようだ。
回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳代	釜石市	男	水産業は、主力とする鮭、イカ、サンマ、サバの不漁が続いており、本年度も不漁予想が出ている。養殖も貝毒の発生等明るい材料が見えない。
回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳代	釜石市	男	人口減少が進む状況が目に見える中、地域経済が思う様に回復する、若しくはしているとは実感できない。表面上（理想）と実際との、ギャップがあるのではないと思う。実際に何を持って「回復」と言えるのか疑問である。
分からない	教育・福祉施設関連	39歳以下	宮古市	女	地域経済はなんとなく変わりなく、横ばいなのではないかと思う。変化があったようには思えないので。
分からない	教育・福祉施設関連	50歳代	山田町	男	H29.4.1転入のため。
分からない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	釜石市	男	目に見えることは、特になく分からない。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	岩泉町	男	防災設備はほぼ完成した。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	陸前高田市	男	防災対策については国からの予算が繰入れられ、かなり進んでいると思う。しかしその反面、自然への環境の影響が心配される。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	洋野町	男	防潮堤、かさ上げ工事も、完成間近となり着実に進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳代	洋野町	男	防潮堤、嵩上工事の進捗。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	久慈市	男	宇部町久喜地区や野田村の防潮堤が形となって見えてきた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	久慈市	女	必要な整備は進んでいるし、避難訓練等も継続して行われている。大切なことは、私たちの気持ちを風化させないことだと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳代	久慈市	男	復興公園など整備されてきた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳代	久慈市	女	復興道路、防潮堤の建設など確実に進んでいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	野田村	男	防潮堤工事も順調に進んでいるようだ。(8~9割程度)土地区画整備も終り、家屋の建築もかなり進んでいるようだ。自動車道の工事は宮古方面(沿岸南部)より、久慈方面(沿岸北部)の工事が遅れているように感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	野田村	男	被災区域の整備、避難ビル(2ヶ所)、更には津波緩衝地帯(都市計画)も全て完了し、防潮堤の完成も間もない状況。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	野田村	女	勤務先の防潮堤が着々と完成に向けて近づいてきている。都市公園の整備や三陸道の工事が進んでいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	野田村	女	防潮堤はまだ完成していないが、工事は進んでいることがとてもわかる。地域のコミュニティセンターや保健センターも新しく整備され、緊急時の一次避難場所も造られた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳代	野田村	男	防潮堤の完成で、被災前以上に災害に強い安全なまちづくりは達成できる。住民の災害に対するマインドの構築を行っていく必要がある。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	普代村	女	防潮堤がまだ完全に出来ていない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳代	普代村	女	整備されつつある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳代	田野畑村	男	ほんとうに災害に強い町がわからない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	60歳以上	宮古市	男	岩泉は台風の影響が残っている(106号沿いもちらほら)堤防工事は進んでいるが、歩道の通行が早く出来るようになるよと、山田線の復旧が少しずつ行われているようだ。国道45号もだいぶ出来ているようなので、三陸道路の完成が楽しみ。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳代	宮古市	女	防潮堤の建設が大幅に進んできている。完成に近づいている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	宮古市	男	ハード面は進んでいると思われるが、不安材料として震災より6年経過し、徐々に津波に対する恐怖や地震への備えについて薄れている様に思える。行政もハード面を重視し、子供達への教育(防災)について行っていない様に思える。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳代	宮古市	女	新しい道路も次々と完成しており、防潮堤も着々と進んでいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳代	宮古市	女	防潮堤などが建設され、見た目にははずいぶん災害に強そうなまちづくりが進んだ気がするが、人々の防災意識を高めるために、イベント等は定期的に行うべきだと感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳代	宮古市	男	被災前と比較した場合、「防潮堤」と「三陸沿岸道路」は建設中ではあるが、「国道が海より遠ざかったこと」や、「防災集団移転促進事業の完了」また周囲の話では、私自身把握していない工事や事業も進められているということで、着実に安全性が向上しているのだから「やや達成している」と感じる。直近6ヶ月間、意識して「安全なまちづくり」の進み具合を見ていないがトンネル・橋に関しては出来あがっているのが明らかに分かるので、個人的にはフクフクしてきた。それと、自分自身が「災害に強い安全なまちづくり」に対して真剣に考えていなかったのも、これからは地方振興局、市、報道等の情報を意識的に入手していきたいと思う。時間の経過とともに、震災の恐怖が薄れてると、「東日本大震災クラス」の津波はまず来ないという前提で物事を考えるようになってきている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳代	宮古市	男	三陸沿岸道路の整備が進んでいる。水門の工事が進んでいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	宮古市	女	復興道路、防潮堤もどんでんできていのが分かる。ただ、海がまったく見えず、これで津波が来たら、引き波とかも見えないので、良し悪しだなとは思った。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	宮古市	男	目に見えて進んでいると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	山田町	女	嵩上げをし、安全な土地に公営住宅が建ち入り、落ち着いた方々もいる。町田中心部の嵩上げが今工事中で、その土地の引渡しを待っている方も多く仮設住宅に残っている。仮設店舗は、未だそのまま営業していて、嵩上げが終わるのを待っている状態である。行く場所がなく、また、高齢となり仮設店舗限りで店を開める方もあり、寂しい感じだ。今はダンプの数も随分少なくなり、工事の大きな音もなくなった。多くの工事の方々本当にご苦労だった。未だ仮の道路がそちこちと移動していますが、町の形が見えて来ている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	山田町	男	尊い命の安心安全のための、被災地防潮堤工事の全容はまだ見えてはいないが、巨大な万里の長城を思わせるようになってきた。海の見えない防潮堤に異様さを感じる。私達は、海のそばで生まれ、海に親しみ海で育ってきた。巨大な防潮堤により、海の自然が遠くなってきていることは事実である。いい方に向うか、悪い方に向うか、今後の子どもたちの生き方が、どのようになるのであろうか、予測不明である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	大槌町	女	・自宅再建する地区で、堤防の補修(1m位高くする)が始まり、また道路整備も進んでいる。 ・前回記入した、役場前の横断歩道や信号の設置について問い合わせた(釜石警察署交通課)ところ、9月~12月に工事が始まるとの事。周辺に住宅が次々と建ち、遅れることなく、工事が行われることを切望する。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	釜石市	男	公営住宅・自宅再建の家も出来てきて、まだ防潮堤が完成していないので安全面で不安。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳代	釜石市	女	鶴住居町や岡石地区の工事は順調に進み、新しいまちづくりが行われている。かなりの土砂を積んでかさ上げを行った。しかし、あくまでも人工的な土地なので、大きな地震や豪雨などの自然災害に見舞われた時、大丈夫なのかという不安がある。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	大船渡市	男	目の前の海が見えないほどの高さの防潮堤ができてきた。県道より高い防潮堤なので、県道を走っているとき津波が来たら、どれだけの高さの津波なのか分からない。日頃高台に避難することを心がけるよう啓蒙することが重要だと思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳代	大船渡市	男	防潮堤の工事の進捗が着実に前進している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳代	大船渡市	男	港湾エリア、浸水エリアの工事もかなり進んできているように感じる。完了までにはまだ時間を要すると思うが、一日でも早く終わることを願う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳代	大船渡市	女	沿岸地域の防波堤の建設が進んだ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	陸前高田市	男	当市、気仙川河口に防潮堤が完成した。川の水門は半分完成した。高さ14mとの事。全部が完成したならば安心だと思う。ちなみに東日本大震災の時の津波の高さは、今泉で14.5mだった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳代	陸前高田市	女	立派な防潮堤が造られて、達成していると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳代	陸前高田市	男	陸前高田にアパッショッピングセンターがオープンし、高台移転が進んでおり、安心して買い物ができる場所が少しずつ増えてきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳代	陸前高田市	男	防潮堤が高くなり、海が遠く（見えなく）なり、津波前よりは安全が意識されたまちづくりになっていると思う。あとは住民の意識か。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	洋野町	女	防潮堤のすぐそばに民家が連なっている地区がある。海が見えず怖いと思う。基本は“地震が起きたら、津波を想定してすぐ高台へ”だが、震災から年が過ぎて、危機意識が薄らいでしまっているのでは…と危惧している。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	久慈市	女	過日、防災に対する講演会があり参加した。その中で、過去には自然とともに共存する政策が大半であったが、今を見れば、災害が起こるたびにそれを封じ込めようとする対策が取られている。旨の講演があったがその通りだと思う。津波災害に対する対策は、防潮堤のかさ上げ工事や道路工事、水害に対しては川の堤防をかさ上げるのではなく、自然を相手に喧嘩している様に感じられる。高齢化が進む中で避難も容易ではない、災害時の警報伝達の方法を変えるぐらいでは人は動かない。であれば、自然と対話しながら安全で安心を提供できる政策を模索してもいいと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳代	久慈市	男	現在、進行中である。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳代	久慈市	女	東日本大震災の復興の途中で、昨年の台風があり、街全体の復興としては足踏みをしたように思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳代	久慈市	男	堤防が完成していないので、台風シーズンが怖い。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	田野畑村	女	津波以外の災害（例えば風水害）への注意は向けられるようになったが、具体的な対策をしているかどうか、伝わってこない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳代	田野畑村	男	工事の遅れがいつまでたっても目についてしまう。何のための事業なのか分からない様なものばかりだ。地域の人口は減るばかりなのに、何を守ろうとするのだろうか？目的が不明なものばかりだ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳代	田野畑村	男	防潮堤がまだできていない（沿岸部の）、しかし工事は進んでいる様に感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	岩泉町	男	東日本大震災での被害の回復、防潮堤等の整備は完了したが、昨年の台風10号被害のため、河川が特に災害に対応できないように見受けられる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	岩泉町	男	堤防のかさ上げにより、昨年の台風10号で堤防からの被害は少なかったが、排水路からの逆流で、安全と思われていた集団移転地の道路が川の様相になり、玄関に水が入った家もあった。地域の声に耳を傾けて宅地造成を進めれば、こういう事はなかったと思う。災害に強い安全なまちには程遠いと思われる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳代	岩泉町	男	防潮堤は概ね回復しており、津波による被害への対策はある程度進捗してきていると思われる。ただし、台風被害への備えはこれからだと感じられる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳代	岩泉町	男	台風被害を受けて、地震・津波以外も対策が必要であると感じる。地元の方とよく話し合っ決定してほしい。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	岩泉町	男	防潮堤工事などは目に見えて進んでいる。ソフト面も（防災教育）加わると、なお良いのでは。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	宮古市	女	住民の安全なまちづくりは、気持ちでは常に認識はあると思うように感じますが、町の様子を見ると、防波堤などは目立って工事が進んでいるとは思えない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	宮古市	男	防潮堤を造るのも大事だが、油断を生まない避難意識の教育と避難施設の充実を望む。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	宮古市	女	ハード面の整備は、少しずつ進んでいるのは確かだが、それとともに避難した場所に住宅、商業施設が出来ていくことを目の当たりにする度に、これでいいのか疑問に思うことがある。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳代	宮古市	男	少しずつであるが、堤防が出来あがってきたため。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	山田町	男	工事の遅れ、防潮堤の早期完成を願う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	山田町	男	防潮堤の工事、水門の工事、道路の整備は、当初計画より大きく遅れていると思う。安全・安心な街である実感は、まだ少し時間がかかるように感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	山田町	男	防潮堤工事、高潮対策水門工事が、今盛んに工事中です。完成までまだ何年かかかると思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳代	山田町	男	防潮堤の工事がようやく始まった。前の防潮堤が無くなったので、早く復旧してほしい。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳代	山田町	男	防潮堤、防波堤工事は進んでいるようだが、道路工事により迂回路が多く、週・月に道路が変わって困る時がある。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳代	大槌町	男	防潮堤や海岸を走る道路はこれから作られていく。実用・機能的なものが作られることを望む。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	大槌町	男	町によって差が出てきていると思う。早く回復した町が、じっくり時間をかけて回復しようとしている町に比べると、どうしても弱いような気がしてならない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳代	大槌町	男	防潮堤は建設中であるが、完成にはまだまだだ。すべて完成したら安心ですが、それまでは安全・安心とは思えない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	大槌町	女	高台は徐々にでき、再建される方が増えた。防潮堤はまだできていないので、まだ安全とは言えない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	釜石市	男	道路や宅地の嵩上げ工事のピッチが上がっていると思う。防潮堤が高くなり、海が見えなくなっていくのがさびしい気がする。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳代	釜石市	女	防潮堤の整備は、各所で見られるようになった。しかし、全てが完成しないと、安全なまちづくりではないと思う。今また津波が来たら考えると、まだ恐怖感はある。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳代	釜石市	男	高上げ工事、道路工事は進んでいるが、まだまだ完成には遠く、日々の環境の変化は感じるものの道半ばと捉えている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳代	大船渡市	女	各所に防潮堤ができて、その大きさや高さに安心感を持つ一方、それによって防災意識が薄まってきたように感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	60歳以上	陸前高田市	女	防潮堤、道路の整備、まだまだこれからの所も多い。高い場所への避難と、頭ではわかっているが、工事の現場を通りかかると、避難しづらい場所もある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	陸前高田市	男	高田松原の防潮堤は完成したが、気仙川の水門、他の防潮堤が出来ておらず、早期の完成が望まれる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	陸前高田市	男	地域ごとに見れば、ある程度達成したところもありますが、まだ不完全な状況。危機感が全く感じられない。大津波は暫く来ないという前提で行われているように見える。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳代	陸前高田市	男	防潮堤ができた所も多くなってきたので。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	陸前高田市	男	防潮堤は整備されてきたが、まだ市内の避難路が完成していない状況のため。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳代	久慈市	男	台風10号の被害が大きかったため。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	宮古市	男	平成29年1月調査の回答と同じ理由のため。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳代	山田町	男	防潮堤工事が進んでいる。しかし、完成はまだまだ先である。震災前は数十年要して、徐々に整備されていた防潮堤であるが、それを撤去して新しい設計で建てられている。場所によっては、元のままの方が良かったのではと思える部分もあり、一律に造り替えているのには疑問を感じる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	釜石市	男	1.海岸整備（避難道路）未完成約65%位 早急をお願いしたい。 2.防潮堤 地域によって進捗度の違いがある。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳代	釜石市	女	工事等は進んでいるが「安全なまちづくり」とは、まだ離れていると思う。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳代	釜石市	男	東日本大震災並みの大津波は、いつかまた必ず長い年月の間には発生すると思う。果たして現在の盛土・防潮堤で、自然災害をくい止める事ができるのか不安。住民の本当の「安全確保」とは何か。理想と実際をどうとらえているのか。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	大船渡市	女	防潮堤で囲んだことにより、海が見えなくなり逆に不安である。いざとなったら潮位を見ながら高台に避難した方がベターと思えるが。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳代	大船渡市	男	人工の構造物によって海岸線が蝕まれている。震災で人工の構造物がいに脆く、逆に自然の地形がいかに強いかが私達は学習したはずだ。自然の地形を利用し、二度と尊い人命を失わないようにするのが生き残った人々の義務だと考える。また、海岸線の変化により、子供たちが海に親しみ、海に学ぶ機会が大きく減っている。故郷の海を知らずに育っていくのはもったいなく、いたましい。子供たちが海に親しみ海に学び、故郷の海を誇りに思える環境整備も進めていかなければ大人として恥ずかしい限りだ。
回復していない	教育・福祉施設関連	60歳代	田野畑村	男	防潮堤の整備が遅れている。津波避難場所の整備は、まずまず進んでいると思う。
回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳代	宮古市	男	防潮堤の整備、避難場所等の変更が進んでいない様に思う。
回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳代	大槌町	女	堤防は今作っているようですが、そう簡単には早く出来る物ではないので…工事の人達が一生懸命に働く姿が見えますので、予定通りには進んでいるのだと思う。
回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	釜石市	男	迂回路がなく常に渋滞するため、復興道路の早期完成が安全なまちづくりに必要だと思うため。工事は進んでいるが、まだ完成していないため達成していない。
回復していない	教育・福祉施設関連	50歳代	大船渡市	女	海に近づくことでも怖くなる。防潮堤より、すぐ逃げられるような広い道路を早目に用意してほしい。
回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳代	陸前高田市	男	まだ防潮堤が完成していないので、もし津波がきたら、未完成のところ津波が集中して来そうで不安。しかし、防潮堤工事はあと少しで終わると思うので、それまでは津波が来ないように思っている。ただ完成しても、逃げるのが大切だと思う。
分からない	教育・福祉施設関連	50歳代	山田町	男	H29.4.1転入のため。
分からない	教育・福祉施設関連	39歳以下	釜石市	男	区画整理が進み、家が建っている場所がかさ上げされているのですが、津波浸水区域であり心配。避難の意識が低下しないよう、呼びかけや対策が必要と思われる。
分からない	産業・経済・雇用関連	50歳代	陸前高田市	男	ハード面では進んでいるようにも見えるが、未だ途上であり分からない。
無回答	産業・経済・雇用関連	60歳以上	大船渡市	女	防潮堤工事中一生懸命です。反面、崖対策をお願いしているが工事着工していない。野ヶ前浜漁港。よろしくお願ひしたい。

【自由記載集：掲載にあたって】

自由記載(理由)は一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど表現をあらためて掲載しています。

平成29年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

平成29年8月28日
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1
電話 019-629-6945